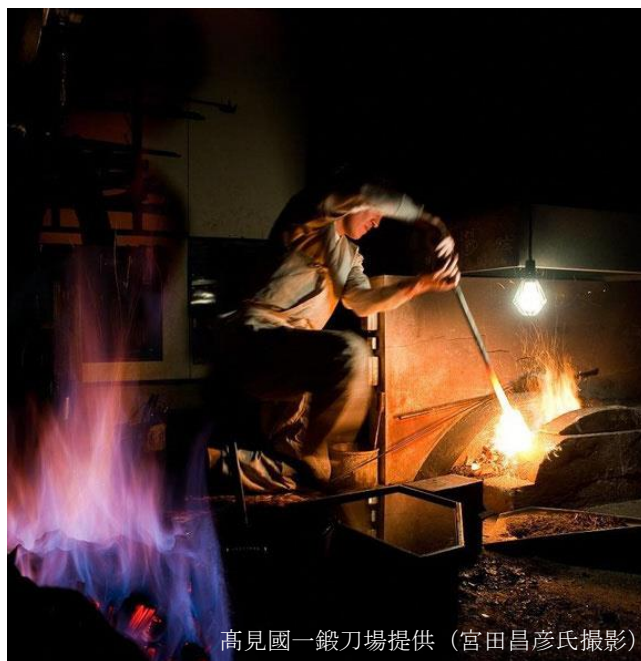


記者発表（資料配付）

月／日	担当課（室）係名	電 話	発 表 者 名	その他資料配付先
12月7日 （金） 14時	歴史博物館 （事業企画課）	079-288-9011	次長 豊田幸雄 （事業企画課長 鈴木敬二）	県教委記者クラブ 中播磨県民センター 西播磨県民局 淡路県民局



ひょうご歴史研究室 研究成果発表フォーラム 「ひょうごの鉄生産と流通」開催について



高見國一鍛刀場提供（宮田昌彦氏撮影）

1. 名 称

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室 平成30年度研究成果発表フォーラム
ひょうごの鉄生産と流通～弥生時代から近代まで～

2. 趣 旨

設立4年目を迎えたひょうご歴史研究室の今年度の成果発表会は、兵庫県内の鉄の生産と流通を、日本列島上の問題として、古代から近代の歴史のなかで考えます。大きな話題を呼んだ古代淡路の鍛冶工房跡、刀剣用の素材として知られた千種鉄、そして姫路の新日鉄広畑工場に象徴される近代製鉄業への展開など、「ひょうごの鉄生産と流通」の実態解明に迫ります。

3. 日 時

平成 31 年 3 月 3 日（日）午後 1 時～午後 4 時 30 分（入場無料/開場：正午/先着順 250 名）

4. 会 場

姫路文学館講堂（北館 3 階）（姫路市山野井町 84 番地）

5. 主 催

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室

6. 共 催

姫路市教育委員会

【プログラム】

講演① 伊藤宏幸（淡路市教育委員会）

「製鉄前夜の鉄器生産 ～兵庫県下の鍛冶遺構を中心に～」

講演② 大村拓生（ひょうご歴史研究室歴史研究推進員）

「千草鉄の流通と刀剣」

講演③ 土佐雅彦（共同研究員／県立篠山東雲高等学校）

「たたら製鉄から近代製鉄へ」

パネルディスカッション

パネリスト：伊藤宏幸・大村拓生・土佐雅彦

司会：岩城卓二（客員研究員／京都大学人文科学研究所）

村上泰樹（共同研究員／兵庫県まちづくり技術センター）

★お問い合わせ

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室
〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68 番地
TEL 079-288-9011 FAX 079-288-9013
ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>

★アクセス

【バス】

JR 姫路駅前北側のバスターミナル 9・10・17・18 番乗り場から、神姫バスに乗り「市之橋文学館前」で下車（約 6 分。北に向かい会場まで徒歩 4 分）
バスターミナル 6 番乗り場から、城周辺観光ループバスに乗り「清水橋（文学館前）」で下車（約 10 分。西に向かい徒歩 3 分）

【車】

姫路バイパス・中地ランプで降り、北東へ約 15 分
山陽自動車道・姫路西 IC で降り、南東へ約 25 分
山陽自動車道・姫路東 IC で降り、南西へ約 25 分

【駐車場】

約 50 台駐車可（なるべく公共交通機関でお越しく下さい）